

2/16 Hirado City Photo News
映画俳優「高倉健」の美学に迫る



平戸文化センターで、故高倉健さんの誕生日に合わせて長編ドキュメンタリー映画「健さん」の上映会が行われ、市内外から約500人が来場しました。

高倉健さんの遺作となる「あなたへ」のロケ地である平戸で上映された映画「健さん」は、生前に限られたインタビューしか受けなかった健さんが、何を考え、どう行動し、何を成し遂げてきたのかを紹介しています。また国内外の名優、名匠からのインタビューで、映画俳優「高倉健」の人生哲学をさまざまな視点からひも解いています。

2/16 Hirado City Photo News
農業高校の男子では県内初の快挙



北松農業高校生活科学科3年の宮崎良介さんが、全国高等学校家庭科技術検定の「和服」「洋服」「食物調理」で1級に合格し、県内の農業高校に通う男子生徒では初めて「三冠王」に輝きました。

この検定は4級から始まり、2年で「和服」、3年の夏に「食物調理」の1級にそれぞれ合格していました。昨年の12月に「洋服」の検定で見事1級に合格し「三冠王」を達成しました。

宮崎さんは「高校生活を通しての目標だったので達成できてうれしい。裁縫は得意ではなかったので、放課後残って練習しました」と話しました。

2/9 Hirado City Photo News
機動力があるポンプ車が度島に



日本損害保険協会が度島地区の消防団に小型動力ポンプ付軽消防自動車1台を送り、市役所で配置式が行われ、市長から平戸市消防団春野留二団長に配置書が手渡されました。

日本損害保険協会は1952年度から、地域の消防力を目的に毎年各地に消防車両を提供しています。度島地区は家が密集しているため、普通の消防車両が入らない場所が多いため、今回の軽車両は狭い道で機動力を生かすことができ、ポンプも高性能の車両ということで、今後の消防活動での活躍が期待されます。

1/27 Hirado City Photo News
平戸から世界を目指して



日本肢体不自由者卓球協会日本代表チームが平戸文化センターで行われる強化合宿に先立ち市長を表敬訪問しました。

平戸市と同協会は2015年に自治体としては初めてネームスポンサー契約を結び、ユニフォームやジャージに「平戸市」のロゴが入っています。

選手の中には、昨年のリオデジャネイロパラリンピックに日本代表として出場した岩淵幸洋選手も帯同しており、岩淵選手は「リオデジャネイロでは予選敗退しましたが、2020年の東京大会を目指し頑張ります」と話しました。

2/10 Hirado City Photo News
大工技術が代々受け継がれる



生月町の米倉巖さんが100歳のお誕生日を迎え、黒田市長が入所先の「生寿園」を訪れ、花束と記念品を贈り長寿を祝いました。

米倉さんは、戦後生月町に戻り、大工と農業をしながら、6人の子どもを育てました。大工の技術は、子どもへ引き継がれ、現在は孫である聖也さんが生月町で大工をしています。

現在は「生寿園」に入所し、ご友人と楽しく過ごしています。お祝い式ではご自分でマイクを持ち、100歳とは思えないほど元気良く、お祝いをしてくれた皆さんにあいさつしました。

1/25 Hirado City Photo News
お元気で冗談も大好き



生月町の町田モトさんが100歳のお誕生日を迎え、黒田市長が入所先の「ケアホームあんじん」を訪れ、花束と記念品を贈り長寿を祝いました。

町田さんは、まき網を営んでいた夫と結婚し、4人の子どもを育てました。

昨年からは「ケアホームあんじん」に入所し、体操やレクリエーションを通して、新しく出来たご友人と楽しく過ごしています。お祝い式では、ご家族や施設の人たちに祝福され「お世話をかけました。ありがとうございました。まだまだ逝かれませんか」と冗談を交えながらあいさつしました。

2/13 Hirado City Photo News
地域の交通安全活動に貢献



田平町の松田弘さん(市交通安全協会副会長)が、長年にわたる交通安全活動の功績をたたえ、1月20日に東京都で開催された「第56回交通安全国民運動中央大会」で、最高の名誉にあたる交通安全栄誉賞の「緑十字金賞」を受賞しました。

松田さんは、昭和38年11月ごろに交通安全協会に入り、約55年もの間、地域の交通安全活動に大きく寄与されています。受賞に際し「このような高価な賞をいただいて身のひきしまる思いです。これからは飲酒運転や交通死亡事故がないよう活動していきたい」と話しました。

2/12 Hirado City Photo News
沿道からの声援を受け力走



「いきつきロード2017」大会が開催されました。生月支所前をスタート・ゴールとするコースで行われ、全22種目に市内外から604組688人が参加しました。この日は前日からの冷え込みも和らぎ絶好のコンディションで、参加者の皆さんは、沿道からの声援に支えられ、懸命にゴールを目指し力走しました。

参加者は大会終了後、同時に開催されていた「白月市」で、地元の飲食店や団体が出店した「鯨汁」や「アゴだし焼きそば」など地元の食材を使った料理を食べ平戸の味覚を堪能していました。